



日本ベンジャミン人間性英才学校
Japan Benjamin School for Character Education

ベンジャミン

通信

2018/7/11発行

第48号

2期生
成長ストーリー

日本ベンジャミン人間性英才学校からグッドニュースや生徒たちの成長をお届けします

これこそ脳の主!

脳の状態を管理して医学部に合格

2期生
成長ストーリー



日本ベンジャミン人間性英才学校
2期生 吉村 相生君

1期・2期アドバンスの過程を修了してベンジャミン学校を巣立った吉村相生くんが、この春、千葉大学医学部に進学しました。本校在学中に医学部現役合格を見事果たした秘訣をお聞きしました。



「入学前は、感情のままに動くような人で、自分を眺めたり制御することができませんでした。ベンジャミン学校で1番変わったことは、自分の脳の状態を眺め、悪い時は整えられるようになったことです。特に、BOS授業や地球市民1分運動のおかげだと思えます」と2年間を振り返って答えてくれた相生くん。



普段の体調や心のコンディションを整えることに苦労する人は多いと思いますが、大学受験というプレッシャーの中でもあっても、自分自身(脳)を眺め、平常心を保つのは、本当に素晴らしいことです。



また勉強以外の面でも「メンター授業やプロジェクトで自分の視野を広げられた事はよかったです。そのおかげでさまざまな事に興味を持ち、チャレンジできるようになったと思います」と成長した姿を見せてくれました。福島の子供たちへの災害支援「福島ドリームプロジェクト」や、「一からすべて自分で企画した「自転車の旅」、同期生の企画した街の人を笑顔にする「スマイルプロジェクト」など、様々なプロジェクトを行ってきました。これらの経験が、彼の内面を豊かにし、受験勉強だけでなく今後の人生設計にも大きな影響を与えたようです。

最後に夢についてお聞きしました。「ベンジャミンに入学する前は、物理や宇宙に興味がありました。しかし今は、医師として病気を抱える人や精神的に苦しむ人を1人でも多く助け、笑顔で健康的な姿に戻ってもらうことが夢になりました。また人生120年だとして、60歳まで医師として活動し、その後は大学に入り直し建築家になりたいとも思っています」

勉強や人間関係によるストレスに悩まされ、進路や将来に意欲でない子供が多いことは現代社会が抱える問題のひとつとなっています。脳の主として人生を歩む力は、進路を選択し、それを実現するための大きなアドバンテージになることでしょう。ぜひベンジャミン学校でそのベースである「脳教育」に出会ってください。

ベンジャミン人間性英才学校は

ブレインワークショップ(メンター特別講義、ベンジャミンリーダーシップ教育、地球市民教育など)、ベンジャミンプロジェクト(世界に役立つ独自のテーマを決めてメンターのサポートを受けながら1年間生徒が自ら進行していくプロジェクト)、メンタリング(様々な分野のメンターから個別にアドバイスをもらう)などのプログラムで、自己啓発、自己省察、進路体験活動などをしながら、自分で人生を作っていく力を養います。

5無
Nothing



校舎 教科授業 テスト 成績表 宿題